

## 札幌啓成高校の主権者教育について

札幌啓成高校では、3年生の「政治・経済」の授業や各クラスのホームルームで主権者教育を行っています。

### (1) 「政治・経済」の授業で

この授業では、主に「現代の政治」の「民主政治の基本原則と日本国憲法」の単元において、約20時間の配当時間をかけて、次のような学習をします。

- ①現代の日本の政治および国際政治の動向について関心を高める。
- ②基本的人権と議会制民主主義を尊重し擁護することの意義を理解する。
- ③民主政治の本質について把握する。
- ④政治についての基本的な見方や考え方を身につける。

### (2) 各クラスのホームルームで

総務省・文部科学省から配布されている『私たちが拓く日本の未来 ～有権者として求められる力を身に付けるために～』を用い、選挙については選挙権年齢が18歳以上になっていることを踏まえながら、より理解が深まるようにしています。

### (3) 選挙前指導

本校では第3学年の生徒に対して、選挙の前に各ホームルームにおいて選挙に対する心構えや、投票の仕方、選挙違反（やってはいけないこと）などについて、選挙前事前指導を行っています。

以上、これらの指導を通じて、生徒は主権者意識を高めています。